

令和5年度 第2回自己評価の分析

設問項目	肯定的回答（％）			分 析 内 容
	生徒	保護者	職員	
【設問1】 楽しい場	前回 93 今回 92	前回 91 今回 90	前回 100 今回 97	わずかに減少している。2学期になり学習内容が難しくなるとともに、3年生の受験が迫ってくることや2年生が責任を負う場面が増えたことが関係していると考え。しかし、多くの生徒にとって学校は概ね楽しい場になっている。ただし、2学期は欠席をする生徒が増加傾向にあり、欠席をしている生徒は、アンケートに答えていない。全校生徒が、今後も安心して学校生活が送れるよう努力していく。
【設問2】 学校施設	前回 95 今回 95	前回 95 今回 97	前回 94 今回 100	保護者の肯定的な回答が2％増加となった。授業参観やバザー三者面談等で実際に子どもたちが活動している様子や、廊下や階段、教室、などの学校施設を見て評価していただいたと推測できる。今後もきれいな校舎を長く維持できるように、清掃活動を活発に行っていく。
【設問3】 情報発信	前回 91 今回 89	前回 91 今回 93	前回 100 今回 100	1学期同様、2学期も肯定的な評価が多かった。さくら連絡網で、学校だよりを中心に学校の様子を伝えている効果があると考え。また、ホームページの更新など、保護者に必要な、情報を発信できている。ただし、部活動の予定をもう少し早く出してほしいという要望や、生徒が配付物を持って帰って渡さないといったご意見があるので、さくら連絡網で配付物の内容を知らせるなど、情報の伝達方法は今後も工夫が必要だと考える。
【設問4】 地域交流	前回 63 今回 61	前回 66 今回 77	前回 50 今回 80	合唱コンクールを保護者観覧で行うことができた。また、授業参観やPTAバザーを行うことができた。「職業人に学ぶ（1学年）」という学習では地域の事業所から多くの働く方々をお招きすることができた。「職場体験学習（2学年）」では、地域の授業所に生徒を受け入れていただき、働くことについて考える機会をいただいた。これらのことが、保護者と職員の肯定的な回答の増加につながったと考える。今後も地域の教育力を活用した取組も続けていきたい。
【設問5】 いじめ防止	前回 87 今回 86	前回 82 今回 80	前回 100 今回 100	生徒、保護者、職員の回答は前回とほぼ同じであった。学年別でみると、生徒も保護者も2学年の否定的な回答が最も多い。3年生から活動の中心を引き継ぎ、生徒が主体的に活動する中で、人間関係のトラブルが増えているのではないかと推測できる。また、全学年において、SNSの不適切な利用（誹謗中傷、肖像権の侵害など）によるトラブルが少なからず報告されている。生徒への情報教育、家庭への情報発信を今後も継続する必要がある。
【設問6】 わかる授業	前回 93 今回 93	前回 83 今回 81	前回 100 今回 91	90％を超える生徒が肯定的な回答をしている。職員と生徒の良好な関係から、わかる授業が展開できていると考えられる。しかし、定期テストの結果に結びついていない現状から、職員の否定的な回答が増加したと考える。1学期と比べ2学期は各学年とも学習内容が難しくなり、定期テストも中間・期末と2回行われている。本校の生徒の課題としては、考えを的確に記述することがある。粘り強く問題に取り組ませるために、わかる授業を全教科で展開することが重要となる。今後もこの課題について改善に取り組んでいく。
【設問7】 誠実な相談活動	前回 89 今回 92	前回 89 今回 90	前回 100 今回 100	生徒と保護者の肯定的な回答が1学期より増加した。タブレットを活用したストレスチェックにより、生徒の状況を教師がキャッチして早期対応につながるケースがあった。生徒への対応、電話連絡、情報の発信などの取組に一定程度評価をいただいたと考えられる。本校の保護者は、アンケートの回答にも表れているように、本校に対して大変協力的である。今後も信用を裏切らないように、職員同士声を掛け合い、組織として丁寧な対応を心がけていきたい。

設問項目	肯定的回答(%)			分 析 内 容
	生徒	保護者	職員	
【設問8】 生徒理解 公平な評価	前回 86 今回 86	前回 82 今回 83	前回 97 今回 100	職員100%の内訳は「そう思う13人」、「ややそう思う22人」である。この結果を十分に踏まえ、生徒が納得のできる評価をし、不透明なところがあれば丁寧に説明するということを全職員で更に徹底していくことが課題だと考える。生徒の努力がそのまま結果に結びつかないこともあるが、取組の過程を大切に評価し生徒と保護者が納得できるように今後も生徒理解を深めていく。
【設問9】 教育環境	前回 93 今回 94	前回 93 今回 95	前回 85 今回 97	生徒、保護者、職員ともに肯定的な回答がほとんどであった。授業参観や三者面談などの機会に、実際に校舎内を見て、掲示物や教室環境の状態を評価していただいたと考える。インターネットの通信環境は改善の必要があり、市教育委員会へ状況や要望を伝えていく。今後も清潔で整った環境を維持し、安心安全な学習環境作りに取り組んでいく。
【設問10】 授業への取組 ・時間を守る	前回 93 今回 93	前回 93 今回 94	前回 91 今回 94	1学期から継続してきた活動が定着し、授業規律が整うとともに、どの生徒も時間を守り集中して授業に取り組むことができていく。休み時間は生徒同士の会話も活発に交わされるが、休み時間と授業の切り替えも適切に行われている。職員もこれまで以上に時間を意識して、生徒の模範となるように心がけていく。
【設問11】 交通ルールを 守る	前回 97 今回 99	前回 81 今回 77	前回 44 今回 60	学区の定点に立ち定期的に登下校の交通指導を行い、学級活動や集会で交通安全について指導したことが職員の肯定的な回答の増加につながった。生徒自身は交通ルールを守っていると考えている。しかし、登下校の様子を見ている保護者は生徒の自転車の走行には危険を感じている。自転車での事故は加害者にも被害者にもなりうるものであることを周知し、交通ルールを守って安全な登下校ができるように継続して指導を続けていく。
【設問12】 元気なあいさ つ	前回 90 今回 91	前回 80 今回 80	前回 82 今回 91	1学期は、昨年度と比較して元気な挨拶をする生徒が少なくなってきたのではないかと職員の意見があった。職員の打合せでも度々挨拶について話題が上がり、普段の取組をしっかりと行うことを共通理解し実践してきた。2学期は職員の肯定的な回答が9%増加している。職員が意識して取り組むことで、元気な挨拶ができる生徒が増えるように指導を継続していく。
【設問13】 身だしなみ	前回 97 今回 96	前回 96 今回 95	前回 97 今回 97	生徒はTPOに合わせた身だしなみで学校生活を送ることができている。服装や髪型が著しく乱れている生徒はいない。一方で細かく見ると、名札のつけ忘れや、教室や廊下で歩きながら髪の毛を櫛でとくしたり、着替えの途中で歩き回ったりする様子が見られる。今後も身だしなみやマナーにつて考える場面を増やして、社会に出ても困らないように指導していく。
【設問14】 清掃活動	前回 96 今回 95	前回 96 今回 96	前回 59 今回 63	学期に一度の大掃除では、どの生徒も一生懸命に校内の清掃に取り組んでいる。また、奉仕作業の時間では仲間と協力して清掃を行っている。しかし、毎日の掃除では、職員の目の届かないところでは、雑談をして真剣に取り組めない様子も見られる。このことから、もっと真剣に清掃活動をしてほしいと考える職員が多い。環境委員の活動を推進するなど、生徒が主体的に清掃活動に取り組めるよう指導していく。
【設問15】 保護者の参加	前回 92 今回 93	前回 89 今回 87	前回 100 今回 100	合唱コンクールは3学年の学級閉鎖と重なったが、保護者を入れて東金文化会館で行うことができた。別の日程で行った3学年のみの発表会では、多くの保護者に観覧していただいた。フリー参観や進路説明会にも多数の保護者に参加していただいた。さらに、保護者と地域の方に協力していただき、PTAバザーは飲食を伴う形式で開催することができた。これからも、生徒が安心して学校に登校できるようにPTA活動をはじめ、保護者と協力、連携しながら教育活動を進めていく。